エコアクション21

環境活動レポート

発行：２００８年　3月１７日

インデックス

１．環境方針
２．事業者活動の概要
３．環境への負荷の低減目標とその実績
４．目標に対する計画と具体的な取組
５．環境活動の取組結果と評価
６．今後の目標と活動計画
７．環境関連法規への違反

株式会社ニッシン

1．環境方針

環境方針

当社の環境マネジメントシステムの継続的な推進と改善は、板金加工業務を通じて次に示す活動を最優先事業活動の一つとして行います。

1．関連法規、法令、規則、条例、協定及びその他合意事項を遵守する。
2．二酸化炭素削減・廃棄物削減・上水の削減に対して目的・目標を定め、継続的改善を実施する事により環境マネジメントシステムの向上を図る。
3．資源リサイクルの推進。
4．環境品質を保証する為に使用禁止物質の削減及び管理の徹底。
5．環境マネジメント活動に、“品質管理”と“５Ｓ”活動をリンクさせながら本システムの効率的改善を図る。
6．全社員がこの方針を理解しスキルアップに努め同じ方向に向かってばく進する。

《この環境方針は社内外に公表します》

２００７年　８月　１日

代表取締役　渋谷光博

株式会社ニッシン

2．事業者活動の概要

【1】　事業者名及び代表者名

カブシキガイシャ　ニッシン
株式会社ニッシン

シブヤ　ミツヒロ
代表取締役社長　渋谷　光博

【2】　事業所住所

〒357-0047　埼玉県飯能市落合５００－１

【3】　環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者	環境管理責任者	安達　知明
担当者	環境管理事務局	梅澤　重隆
連絡先	電話番号	042-974-1161
	FAX 番号	042-974-1705
	E-mail	nisshin@maple.ocn.ne.jp
	H.P URL	http://www.nisshin-corp.com/

【4】　事業の内容

精密板金加工、塗装、組立（ＯＡ機器、医療用機器等の製造）

【5】　当社の５Ｓ活動及び環境保全活動の経緯

１９９６年	７月	体質改善５Ｓ活動スタート
２００２年	３月	株式会社リコーグリーン調達ガイドライン認証取得
２００３年	５月	ソニー株式会社グリーンパートナー認証取得
２００６年	３月	エコアクション２１認証取得
２００８年	３月現在	株式会社リコーＣＭＳガイドライン構築中
２００８年		株式会社リコーＣＭＳガイドライン認証取得予定

【6】　事業の規模

創業	昭和４４年　５月
売上高	６億６千万円
従業員数	５８名

3．環境への負荷の低減目標とその実績

【1】　３６期を基準とし、３７期より新たに立てた３年間の目標。尚、上水については備考欄を参考。

NO.	環境負荷項目		単位	36期基準	37期計画	38期計画	39期計画	備　考
1	資源投入	ｺﾋﾟｰ用紙	枚	97,867	目標1%減 91,197	目標3%減 89,426	目標5%減 87,722	
2		ﾏｸﾞﾈｯﾄﾋﾟｯﾄ	本	400	目標1%減 396	目標3%減 388	目標5%減 380	
3		ﾌｨﾗﾒﾝﾃｰﾌﾟ	巻	420	目標1%減 415	目標3%減 407	目標5%減 400	
4		使用禁止物質	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	客先要求事項に対する実績数値
5	投入資源 水	上水	m^3	―	基準期 3,026	目標1%減 2,996	目標2%減 2,966	上水は新規設備導入により37期（3,026㎥）基準から3%減の活動
6	炭素酸化 二	電力 (Co^2)	Co^2 (kwh)	182,036 (481,578)	目標1%減 180,234 (476,809)	目標3%減 176,734 (467,551)	目標5%減 173,368 (458,645)	Co2削減の為のテーマ
7	廃棄物排出	廃棄物 (全体)	kg	2,930	目標1%減 2,900	目標3%減 2,844	目標5%減 2,790	
8		金属くず (ｽｸﾗｯﾌﾟ)	kg	167,963	目標1%減 166,300	目標3%減 163,070	目標5%減 159,964	
9		金属くず (異常発生品)	kg	8,840	目標1%減 8,752	目標3%減 8,582	目標5%減 8,419	

※上記の表は36期（2003/8～2004/7）37期（2004/8～2005/7）38期（2005/8～2006/7）39期（2006/8～2007/7）を表す。

【2】　３９期にデータ収集を行い４０期より目的・目標に追加する項目。

NO.	環境負荷項目		単位	39期基準	40期計画	41期計画	42期計画	備　考
1	廃棄物排出	産業廃棄物 (ﾋﾞﾆｰﾙ類)	kg	4,900	目標1%減 4,851	目標3%減 4,757	目標5%減 4,667	
2		金属くず (溶接異常発生品)	件数 (kg)	60 (651)	目標1%減 59 (644)	目標3%減 58 (632)	目標5%減 57 (620)	38期はﾃﾞｰﾀが無い為39期内にﾃﾞｰﾀ取りを行う
3		金属くず (塗装異常発生品)	件数 (kg)	1,226 (0)	目標1%減 1,214 (0)	目標3%減 1,190 (0)	目標5%減 1,167 (0)	38期はﾃﾞｰﾀが無い為39期内にﾃﾞｰﾀ取りを行う

※上記の表は39期（2006/8～2007/7）40期（2007/8～2008/7）41期（2008/8～2009/7）42期（2009/8～2010/7）を表す。

【3】　３７期、３８期、３９期の目的・目標の実績は次の通りである。

NO.	環境負荷項目		I：投入 O：排出	単位	３７期	３８期	３９期	備　考
1	資源投入	ｺﾋﾟｰ用紙	I	枚	81,890 16.3%減	62,000 36.7%減	73,500 24.9%減	
2		ﾏｸﾞﾈｯﾄﾋﾟｯﾄ	I	本	400 0%	1,270 317.5%増	1,500 375.0%増	
3		ﾌｨﾗﾒﾝﾃｰﾌﾟ	I	巻	270 35.7%減	480 12.5%増	360 14.3%減	
4		使用禁止物質	I	%	0% 要求達成	0% 要求達成	0% 要求達成	
5	投入資源 水	上水	I	m^3	3,026	2,345 22.5%減	2,381 21.3%減	上水は新規設備導入により38期より削減テーマとして掲げる。
6	炭素酸化 二	電力 (Co^2)	I	Co^2 (kwh)	180,358 (477.137) 0.9%減	182,959 (484.019) 0.5%増	184,097 (487.030) 2.1%増	Co2削減の為
7	廃棄物排出	廃棄物 (全体)	O	kg	2,200 24.9%減	1,360 53.6%減	1,460 50.2%減	
8		産業廃棄物 (ﾋﾞﾆｰﾙ類)	kg	kg	―	―	4,900 現状把握	38期はﾃﾞｰﾀが無い為39期内にﾃﾞｰﾀ取りを行う
9		金属くず (ｽｸﾗｯﾌﾟ)	O	kg	145,387 13.4%減	161,737 3.7%減	154,684 7.9%減	
10		金属くず (異常発生品)	O	kg	7,236 15.5%減	8,423 4.7%減	10,020 13.4%増	
11		金属くず (溶接異常発生品)	O	件数 (kg)	―	―	60 (651) 現状把握	38期はﾃﾞｰﾀが無い為39期内にﾃﾞｰﾀ取りを行う
12		金属くず (再塗装異常発生品)	O	件数 (kg)	―	―	1,226 (0) 現状把握	38期はﾃﾞｰﾀが無い為39期内にﾃﾞｰﾀ取りを行う

※上記の表は37期（2004/8～2005/7）38期（2005/8～2006/7）39期（2006/8～2007/7）を表す。
※目標値、実績値は基準期をベースとして計算しております。

4．目標に対する計画と具体的な取組

【1】　目的・目標を達成させる為の環境マネジメントプログラム（計画）は以下の通りである。

全社環境活動計画書

NO	環境負荷項目	環境目的	目標行動内容／実施事項	目標値 計画	担当部門／責任者	手順書
1	電力消費量(Co2)の削減	36期基準39期末5%減	1．照明器具等の見直しと試行と実施 2．現状把握をしての蛍光灯の撤去 3．現状把握をしての蛍光灯の撤去	37期末1%　38期末3%　39期末5%	全部門	電力削減手順書
2	廃棄物の削減	36期基準39期末5%減	1．廃コピー用紙の再利用の徹底 2．購入品等の廃棄物の再利用化 3．廃棄物運搬頻度の削減	37期末1%　38期末3%　39期末5%	全部門	廃棄物削減手順書
3	上水の削減	37期基準40期末5%減	1．水道、蛇口、トイレの節水 2．上水のリサイクルの推進 3．使用メモリ対策の推進	38期末1%　39期末3%　40期末5%	全部門	上水削減手順書
4	使用禁止物質の削減・管理	客先要求事項による徹底管理	1．レベル１含有成分即時納入禁止 2．レベル１，２含有成分即時納入禁止 3．レベル１，２含有成分即時納入禁止	39期末即時　40期末ﾚﾍﾞﾙ2　41期末ﾚﾍﾞﾙ2	全部門	使用禁止物質削減・管理手順書
5	ｺﾋﾟｰ用紙使用頻度の削減	36期基準39期末5%減	1．コピー用紙の使用頻度の削減 2．不要コピーの見直しと試行と実施 3．ペーパーレスへの移行検討と試行	37期末1%　38期末3%　39期末5%	事務所G	省資源手順書（コピー用紙）
6	ｽｸﾗｯﾌﾟの削減	36期基準39期末5%減	1．ネスティングと抜きの見直し 2．端材在庫の徹底管理 3．材料購入の見直しと試行と実施	37期末1%　38期末3%　39期末5%	第一加工課ＮＣＴＧ	ｽｸﾗｯﾌﾟ削減手順書
7	異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟの削減	36期基準39期末5%減	1．異常発生品の低減化 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	37期末1%　38期末3%　39期末5%	第一加工課ベンダーＧ（NCTG）（組立Ｇ）	異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟ削減手順書
8	溶接異常発生品の削減	39期基準42期末5%減	1．異常発生品の現状把握 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第二加工課	溶接異常発生品削減手順書
9	再塗装異常発生品の削減	39期基準42期末5%減	1．異常発生品の現状把握 2．異常発生品防止策の実施 3．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第三加工課塗装Ｇ	再塗装異常発生品削減手順書
10	ﾏｸﾞﾈｯﾄﾋﾞｯﾄ使用量の削減	36期基準39期末5%減	1．使用量低減化 2．作業方法の改善 3．使用頻度の見直しと試行と実施	37期末1%　38期末3%　39期末5%	第三加工課組立Ｇ	ﾏｸﾞﾈｯﾄﾋﾞｯﾄ削減手順書
11	ﾌｨﾗﾒﾝﾃｰﾌﾟ使用量の削減	36期基準39期末5%減	1．使用量低減化 2．作業方法の改善 3．使用頻度の見直しと試行と実施	37期末1%　38期末3%　39期末5%	第三加工課組立Ｇ	ﾌｨﾗﾒﾝﾃｰﾌﾟ削減手順書

実施試行、　維持

※1：36期（2003年 8月～2004年 7月）、37期（2004年 8月～2005年 7月）、38期（2005年 8月～2006年 7月）、39期（2006年 8月～2007年 7月）、40期（2007年 8月～2008年 7月）、41期（2008年 8月～2009年 7月）、42期（2009年 8月～2010年 7月）を示す。

【２】　上記計画書を基に以下の通り取組を行う。

①電力(Co2)の削減　　：使用していない機械等のコンセントは差しっぱなししないようにする。又、必要ない照明については蛍光灯の撤去を行う。レイアウトの見直しを行い、必要な箇所のみ照明を設置する。

②全体の廃棄物の削減　：再利用徹底及びﾘｻｲｸﾙ化への強化。

③上水の削減　　：各部門の水道を検証し、上水を最低限の使用とする。

④使用禁止物質の削減　：客先要求事項により使用禁止物質使用をしない。

⑤コピー用紙の削減　　：必要最低限のコピー及びペーパーレスへの推進を行う。

④金属くず(スクラップ)：端材在庫の低減と、歩留率アップを行う。

⑤金属くず(異常発生品)：異常発生品防止の為の作業性、スキルアップ向上を行う。又、溶接、再塗装の異常発生品防止の強化を行う。

⑥ﾏｸﾞﾈｯﾄﾋﾞｯﾄの削減　　：ﾏｸﾞﾈｯﾄﾋﾞｯﾄ破損を避ける為の扱い上のｽｷﾙｱｯﾌﾟ、使用頻度の見直し。

⑦ﾌｨﾗﾒﾝﾃｰﾌﾟの削減　　：ﾃｰﾌﾟの長さと使用される製品の貼り場所の検討をし実施し、在庫数の見直しを行う。

【３】　毎週月曜日に環境・品質／５Ｓ活動を行っており、その活動内の内容は環境目的・目標に対する取組と教育訓練及び事故及び緊急事態対応の訓練等の実施、品質についての話し合い及びスキルアップの勉強会、５Ｓ（整理、整頓、清潔、清掃、躾）活動を行っている。

５．環境活動の取組結果と評価

【１】　３７期、３８期、３９期の評価は以下の通りである。

NO.	環境負荷項目		36期基準	37期目標 37期実績	37期評価	38期目標 38期実績	38期評価	39期目標 39期実績	39期評価	備考
1	資源投入	ｺﾋﾟｰ用紙	92,109	目標1%減 91,197 16.3%減 81,890	◎	目標3%減 89,426 36.7%減 62,000	◎	目標5%減 87,722 24.9%減 73,500	◎	
2	資源投入	ﾏｸﾞﾈｯﾄﾋﾞｯﾄ	400	目標1%減 396 0% 400	△	目標3%減 388 317.5%増 1,270	△	目標5%減 380 375.0%増 1,500	△	
3	資源投入	ﾌｨﾗﾒﾝﾃｰﾌﾟ	420	目標1%減 415 35.7%減 270	◎	目標3%減 407 12.5%増 480	△	目標3%減 400 14.3%減 360	◎	
4	資源投入	使用禁止物質	含有率 0%	含有率 0% 要求達成 0%	◎	含有率 0% 要求達成 0%	◎	含有率 0% 要求達成 0%	◎	
5	水資源投入	上水	―	基準期 3,026		目標1%減 2,996 22.5%減 2,345	◎	目標3%減 2,966 21.3%減 2,381	◎	新規設備導入により37期を基準
6	二酸化炭素	電力 Co^2 (kwh)	182,036 (481,578)	目標1%減 180,233 (476,809) 0.9%減 180,358 (477,137)	○	目標3%減 176,234 (467,551) 0.5%増 182,959 (484,019)	△	目標5%減 173,368 (458,645) 2.1%増 184,097 (487,030)	△	Co2削減の為のﾃｰﾏ
7	廃棄物排出	廃棄物 （全体）	2,930	目標1%減 2,900 24.9%減 2,200	◎	目標3%減 2,844 53.6%減 1,360	◎	目標5%減 2,790 50.2%減 1,460	◎	
8	廃棄物排出	産業廃棄物 （ﾋﾞﾆｰﾙ類）	―		―		―	現状把握 ― 4,900	―	39期は現状把握の為評価無し
9	廃棄物排出	金属くず （ｽｸﾗｯﾌﾟ）	167,963	目標1%減 166,300 13.4%減 145,387	◎	目標3%減 163,070 3.7%減 161,737	◎	目標5%減 159,964 7.9%減 154,684	◎	
10	廃棄物排出	金属くず （異常発生品）	8,840	目標1%減 8,752 15.5%減 7,236	◎	目標3%減 8,582 4.7%減 8,423	◎	目標5%減 8,419 13.4%増 10,020	△	
11	廃棄物排出	金属くず （溶接異常発生品） 件数（kg）	―		―	基準期 ﾃﾞｰﾀ無	―	現状把握 ― 60 (651)	―	39期は現状把握の為評価無し
12	廃棄物排出	金属くず （再塗装異常発生品） 件数（kg）	―		―	基準期 ﾃﾞｰﾀ無	―	現状把握 ― 1,226 (0)	―	39期は現状把握の為評価無し

※上記の表は37期（2004/8～2005/7）38期（2005/8～2006/7）39期（2006/8～2006/12）を表す。

※目標値、実績値は基準期をベースとして計算しております。

※評価は次の通り。◎：削減されている　○：理由により削減されている　△：削減されていない

【2】　考察

３９期（2006/8～2007/7）の実績としては生産台数の増加により２．マグネットビットの資源投入量の増加、６．電力使用量の増加により二酸化炭素排出量が増えた為目標達成が出来ませんでした。又、在庫品の一掃を行った為、１０．金属くず（異常発生品）の量が上回ってしまいました。

その他のテーマにつきましては削減率が大きく、廃棄物ではリサイクルの推進が行われてから約５０％の低減が可能になり、金属くず（スクラップ）では、シートメタル上での歩留り率のアップにより本来の目標５％より上回る７．９％の削減が出来ました。

環境管理総括者見直しにより２００７年　８月からは８．産業廃棄物（ビニール類）の削減と共に、今まで行っていた異常発生品の金属くずを工程別に分け、１１．金属くず（溶接異常発生品）、１２．金属くず（再塗装異常発生品）の２項目を追加し廃棄物量の低減に努める事にしました。

今期３９期（2006/8～2007/7）は５Ｓ活動に力を入れました。その改善効果は以下の【3】の通りである。

【3】　改善及び主な活動の成果

①　５Ｓ活動の強化：毎月第１週の水曜日に巡回パトロールを行い、各部門に５Ｓ活動のテーマを与え、翌月の活動内で改善を行っています。３９期（2006/8～2007/7）は５Ｓ活動の強化をすると共に、その成果が以下の通りとなっています。

Ⅰ．消耗品購入率の低減、在庫数の把握の改善（事務所Ｇ）

事務所Ｇ改善前

事務所Ｇ改善後

必要最低限の物だけを置くようにし、一覧表を設置し１つになったら注文する管理に改善しました。

Ⅱ．機械周辺のスペース確保と不要物一掃の改善（第一加工課ＮＣＴＧ）

ＮＣＴＧ改善前

ＮＣＴＧ改善後

不要物を撤去し、有効スペースを確保し、工具管理板の手前に物を置かないよう改善しました。

Ⅲ．組立用在庫、倉庫内の在庫量把握と表示の徹底改善（第三加工課組立Ｇ）

組立Ｇ改善前

組立Ｇ改善後

在庫品の把握と、現在流れていない在庫品の撤去を行い、一ヶ所にまとめ、現品票を付けて管理するよう改善をしました。

② ５Ｓ全体活動：３ヶ月に１回各グループの計画により全体で５Ｓ活動を行っています。又、防火管理者を主導による避難訓練及び消火活動も行っています。

全体活動風景
全員で駐車場の除草作業！！

消火活動
防火管理者の主導による消火活動！！

6．今後の目標と活動計画

【1】 ４０期（２００７年 ８月）からの目的・目標は次の通りである。

NO.	環境負荷項目		単位	39期基準	40期計画	41期計画	42期計画	備 考
1	投入資源	ｺﾋﾟｰ用紙	枚	73,500	目標1%減 72,765	目標3%減 71,295	目標5%減 69,825	
2		使用禁止物質	%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	含有率 0%	客先要求事項に対する実績数値
3	投入資源	水 上水	m^3	目標2%減 2,966	目標3%減 2,935	―	―	上水は新規設備導入により37期（3,026㎥）基準から3%減の活動
4	炭素	二酸化 電力 （Co^2）	Co^2 (kwh)	184,097 (487,030)	目標1%減 182,256 (482,159)	目標3%減 178,574 (472,419)	目標5%減 174,892 (462,678)	Co2削減の為のテーマ
5	廃棄物排出	廃棄物 （全体）	kg	1,460	目標1%減 1,445	目標3%減 1,416	目標5%減 1,387	
6		産業廃棄物 （ﾋﾞﾆｰﾙ類）	kg	4,900	目標1%減 4,851	目標3%減 4,757	目標5%減 4,667	
7		金属くず （SUS） （ｽｸﾗｯﾌﾟ）	kg	4,280	目標1%減 4,237	目標3%減 4,151	目標5%減 4,066	
8		金属くず （異常発生品）	kg	10,020	目標1%減 9,920	目標3%減 9,720	目標5%減 9,520	
9		金属くず （溶接異常発生品）	件数 (kg)	60 (651)	目標1%減 59 (644)	目標3%減 58 (632)	目標5%減 57 (620)	
10		金属くず （塗装異常発生品）	件数 (kg)	1,226 (0)	目標1%減 1,214 (0)	目標3%減 1,190 (0)	目標5%減 1,167 (0)	

※上記の表は37期（2004/8～2005/7）38期（2005/8～2006/7）39期（2006/8～2007/7）
40期（2007/8～2008/7）41期（2008/8～2009/7）42期（2009/8～2010/7）を表す。
※目標値、実績値は基準期をベースとして計算しております。

【2】　４０期（２００７年８月）より目的・目標を達成させる為の環境マネジメントプログラム（計画）は以下の通りである。

全社環境活動計画書

NO	環境負荷項目	環境目的	目標行動内容／実施事項	目標値 計画	担当部門／責任者	手順書
1	電力消費量(Co2)の削減	39期基準42期末5%減	１．照明器具等の見直しと試行と実施 ２．現状把握をしての蛍光灯の撤去 ３．現状把握をしての蛍光灯の撤去	40期末1%　41期末3%　42期末5%	全部門	電力削減手順書
2	廃棄物の削減	39期基準42期末5%減	１．廃コピー用紙の再利用の徹底 ２．購入品等の廃棄物の再利用化 ３．廃棄物運搬頻度の削減	40期末1%　41期末3%　42期末5%	全部門	廃棄物削減手順書
3	上水の削減	37期基準40期末5%減	１．水道、蛇口、トイレの節水 ２．上水のリサイクルの推進 ３．使用メモリ対策の推進	38期末1%　39期末3%　40期末5%	全部門	上水削減手順書
4	使用禁止物質の削減・管理	客先要求事項による徹底管理	１．レベル１含有成分即時納入禁止 ２．レベル１，２含有成分即時納入禁止 ３．レベル１，２含有成分即時納入禁止	40期末1%　41期末3%　42期末5%	全部門	使用禁止物質削減・管理手順書
5	ｺﾋﾟｰ用紙使用頻度の削減	39期基準42期末5%減	１．コピー用紙の使用頻度の削減 ２．不要コピーの見直しと試行と実施 ３．ペーパーレスへの移行検討と試行	40期末1%　41期末3%　42期末5%	事務所Ｇ	省資源手順書（コピー用紙）
6	ｽｸﾗｯﾌﾟ(SUS)の削減	39期基準42期末5%減	１．SUS材料の現状把握 ２．ﾈｽﾃｨﾝｸﾞの見直し ３．端材の徹底管理	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第一加工課ＮＣＴＧ	ｽｸﾗｯﾌﾟ(SUS)削減手順書
7	異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟの削減	39期基準42期末5%減	１．異常発生品の低減化 ２．異常発生品防止策の実施 ３．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第一加工課ベンダーＧ（NCTG）（組立Ｇ）	異常発生品ｽｸﾗｯﾌﾟ削減手順書
8	溶接異常発生品の削減	39期基準42期末5%減	１．異常発生品の現状把握 ２．異常発生品防止策の実施 ３．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第二加工課	溶接異常発生品削減手順書
9	再塗装異常発生品の削減	39期基準42期末5%減	１．異常発生品の現状把握 ２．異常発生品防止策の実施 ３．スキルに対する見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第三加工課塗装Ｇ	再塗装異常発生品削減手順書
10	産業廃棄物(ﾋﾞﾆｰﾙ)の削減	39期基準42期末5%減	１．使用量低減化 ２．作業方法の改善 ３．使用頻度の見直しと試行と実施	40期末1%　41期末3%　42期末5%	第三加工課組立Ｇ	産業廃棄物（ﾋﾞﾆｰﾙ）削減手順書

→実施試行、→維持

※１：37期（2004年 8月～2005年 7月）、38期（2005年 8月～2006年 7月）、39期（2006年 8月～2007年 7月）
40期（2007年 8月～2008年 7月）、41期（2008年 8月～2009年 7月）、42期（2009年 8月～2010年 7月）を示す。

7．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

【1】　下記の通り自ら遵守状況をチェックし問題点がない事を確認しています。

環境関連法規項目			遵守結果
法規制違反の有無	公害に関する法律	下水道法	2008年3月現在無し
		騒音規制法	2008年3月現在無し
		振動規制法	2008年3月現在無し
		悪臭防止法	2008年3月現在無し
	廃棄物・リサイクルに関する法律	循環型社会形成推進基本法	2008年3月現在無し
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	2008年3月現在無し
		再生資源の利用の促進に関する法律	2008年3月現在無し
		使用済自動車の再資源化等に関する法律	2008年3月現在無し
	化学物質に関する法律	毒物及び劇物取締法	2008年3月現在無し
		消防法	2008年3月現在無し
		高圧ガス保安法	2008年3月現在無し
	その他の法律	労働安全衛生法	2008年3月現在無し
		粉塵障害防止規則	2008年3月現在無し
	条例	埼玉県環境保全条例	2008年3月現在無し
		飯能市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	2008年3月現在無し
		飯能市下水道条例	2008年3月現在無し
訴訟の有無	環境関連訴訟		2008年3月現在無し

【2】　外部からの苦情、関連当局からの違反の指摘は過去３年間ありません。